

一般社団法人日本医療薬学会  
平成 28 年度第 4 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 28 年 8 月 25 日（木） 13 時 ～ 16 時 50 分

二．開催場所：日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘、山田 安彦

理 事：青山 隆夫、伊藤 清美、大谷 壽一、崔 吉道、佐藤 淳子、  
千堂 年昭、武田 泰生、濱 敏弘、峯村 純子、宮崎 長一郎、  
望月 眞弓、山田 清文、脇山 尚樹

監 事：大石 了三、山元 俊憲

年会長：大森 栄（第 27 回）

陪席者

事務局：星 隆弘

欠席者

副会長：井関 健

理 事：出石 啓治、川上 純一、松原 和夫

監 事：安原 真人

四．議長：佐々木 均

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 16 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 28 年度第 3 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 6 月 2 日に開催された平成 28 年度第 3 回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 新規事業の実施計画

1) サイエンス活動に係る学術委員会・同小委員会の設置及び実施方針

奥田副会頭より、第 1 回学術小委員会（仮称、サイエンスに関する小規模委員会）の構築に関するワーキンググループの議事概要として、①医療薬学の体系化の議論

を進める、②本学会において医療薬学の教科書の編集を目指す、③親委員会及び小委員会編成する、④次年度の年会においてシンポジウム枠を設けて小委員会の活動を踏まえたディスカッションを行うことなどが説明された。また、親委員会の編成案が示された。協議した結果、小委員会の活動に係る研究テーマを理事より募ることとし、親委員会の名称を「医療薬学学術委員会」、小委員会を「医療薬学学術小委員会」とするとともに、前者の担当副会頭は奥田理事、委員長は山田(清)理事、委員として大谷、川上、佐藤、脇山の各理事をもって編成することが了承された。なお、親委員会の委員として、保険薬局所属者の追加を検討することになった。

## 2) 大学教員及び学生によるシンポジウムの開催検討WGでの検討

山田副会頭より、第1回大学教員及び学生によるシンポジウムの開催検討ワーキンググループの議事概要として、大学教員及び学生が参加主体となるイベントの実施について、学部6年生や大学院生が発表できる機会と位置づけ、口頭、ポスター発表の各セッションを設ける他、優秀発表者の表彰制度を導入すること。開催時期として、他の学会の開催日と重ならない来年6月から7月頃の土曜日又は日曜日に半日程度の時間をもっての開催を前提とし、第1回目は東京、第2回目は京阪地区での開催計画とする。その後は、薬学生の多い地域を回るような形での開催を検討する。なお、他の学会とは、開催規模や発表演題の量・質などの差別化が図れると考えられるため、参加者を奪い合う形にはならないと考えられること。また、第2回目の開催候補地である京阪地区在住の大学教員2名を加えて、新たな委員会としての発足が望まれる主旨の説明があった。協議した結果、多くの意見が出されたが、開催実績を積み重ね、その都度、改善策を検討する方針となった。また、当該企画の名称を「フレッシューズ・カンファランス(仮称)」とすることとし、当面の間、新たに発足する委員会を企画シンポジウム委員会の下部組織の委員会とすることとなった。

## 3) 臨床研究セミナーの開催計画

伊藤理事より、第1回医療薬学教育委員会の議事概要を基に、平成29年度の本委員会の活動計画の1つとなる臨床研究セミナーの開催計画が説明された。臨床研究の実践に際して、指導体制がなく又ノウハウを有しない者らへの教育の一環として、臨床研究活動上の課題を解決し論文投稿や学会発表に繋げるためのレクチャーセミナーの企画に係る説明があった。協議した結果、本企画の実施及び予算の経常が了承され、平成29年度の事業計画案及び予算案に組み入れることとなった。

## (2) 「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」の出版契約及び形態

峯村理事より、「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」の改訂に際し、出版社との間で制作費用に係る協議した内容が説明された。本学会に入

る印税の割合(率)、保証部数・金額(執筆料、謝金等を含む)、診療ガイドラインの転載許諾料の支払いに係る本学会と出版社の折半、現行のA4判サイズからB5判サイズへの変更、現行の5分冊から2~3分冊への集約化などが話し合われたことが説明された。協議した結果、制作費用(印税率、執筆料、謝金、転載許諾料)及び版型サイズの縮小化については了承された。また、冊数の集約化については、実際の編集過程における原稿の量などに鑑み、適切な時期に改めて協議することとなった。

### (3) 平成29年度事業計画案

千堂理事より、配布資料を基に本理事会の冒頭で協議した3つの新規事業及び出版事業を含めた平成29年度の事業計画案が説明された。協議した結果、原案の一部の文言に加筆・修正を加えた上で、第8回臨時社員総会に諮ることとなった。

### (4) 平成29年度予算案

山田(清)理事より、配布資料を基に本理事会の冒頭で協議した3つの新規事業及び出版事業に係る費用を計上した平成29年度の予算案が説明された。協議した結果、本案は了承され、第8回臨時社員総会に諮ることとなった。

### (5) 第8回臨時社員総会及び学会賞表彰式の資料、議事録署名人及び会場レイアウト

千堂理事より、第8回臨時社員総会及び学会賞表彰式の資料・進行、議事録署名人、会場レイアウトなどが説明された。

### (6) 顧問の設置、委嘱

山田副会頭より、顧問の設置に係る検討案として、理事会申し合わせとして顧問の設置規定を設けること及び同規定案が説明された。続いて、議長より、木平健治氏(日本病院薬剤師会会長)、山本信夫氏(日本薬剤師会会長)及び会計顧問として五十嵐邦彦氏(公認会計士)の3名を本学会の顧問として委嘱したい意向が示された。協議した結果、理事会申し合わせによる顧問の設置規定及び3名の顧問としての委嘱が了承された。なお、将来的には、顧問の設置規定を定款への組入れを検討することとした。

### (7) 平成29・30年度代議員選挙公示、スケジュール、立会人の選任

千堂理事より、平成29・30年度代議員選挙スケジュールにおける投票終了後から結果公示までの期間を変更すること及び開票立会人として黒田誠一郎氏(東京大学医学部附属病院)を選任する旨の説明があった。協議した結果、当該選挙スケジュールの変更及び開票立会人の就任が了承された。

### (8) 平成28年度薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験の合否判定

青山理事より、本年7月31日(日)に実施した薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験の実施報告及び合否判定結果に係る説明があった。本試験はマークシートに

よる多肢選択式問題 100 題（午前及び午後、各 2 時間 50 問ずつ）により、先行して実施された受験資格審査（書類審査）に合格した 122 名が受験した。薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験実行小委員会及び認定薬剤師制度委員会において従前の判定基準に則り合否について審議した結果、合格者 104 名、不合格者 18 名（合格率 85.2%）と判定したことが説明された。協議した結果、本判定結果は了承された。なお、当該試験の合格者のうち 3 名は薬物療法専門薬剤師の認定申請者であり、今後、継続して同専門薬剤師の認定審査が実施されるため、当該 3 名を除いた 101 名を 9 月 1 日付けで認定薬剤師として認定すること。さらに、当該合格者に含まれる認定薬剤師と指導薬剤師の同時申請者 11 名を、指導薬剤師として委嘱することとなった。認定薬剤師の認定期間は、2016 年 1 月 1 日から 5 年間である。（指導薬剤師の委嘱日、委嘱期間も前者と同一である。）

#### (9) 薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験問題作成小委員会委員の委嘱

青山理事より、薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験問題の作成を担う、同作成小委員会の編成にあたり、薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験実行小委員会委員を併任させる形で編成したいという主旨説明があった。試験問題の依頼から出題された問題のスクリーニングと、ブラッシュアップを担う委員が同一である方が効率良く試験問題を作成できることより、両委員を併任させるメリットが説明された。協議した結果、本案は了承された。

#### (10) 年会長候補者推薦委員会の編成

議長より、年会長候補者推薦委員会の委員として、会頭が指名する 2 名の代議員（役職指定委員を除く）として、松原理事と崔理事を選任することが説明された。協議した結果、本委員会の編成が決定した。

#### (11) 広報用パンフレットの改訂など

武田理事より、広報委員会において策定した本学会の広報用パンフレットの改訂版と制作費用の概算が示された。また、本学会ホームページ（HP）に掲載している本学会の概要や組織図・委員会の構成情報等を英文に翻訳して掲載することや、HP 掲載情報の階層や位置を見直す方針が説明された。協議した結果、パンフレットの改訂、英文 HP の作成、HP の一部見直し及び経費の支出などが了承された。

#### (12) 薬物療法専門薬剤師研修コアカリキュラムの改訂

望月理事より、今春、策定した薬物療法専門薬剤師研修ガイドラインと同コアカリキュラム上で使用されている用語などに齟齬が見られるため、薬物療法研修小委員会より薬物療法専門薬剤師研修コアカリキュラムの一部改訂に係る提案があったことが説明された。本改訂は、両者間の齟齬を解消することが目的であり本質部分の変更ではないため、協議した結果、本改訂は了承された。

### (13) 医療薬学誌掲載論文の転載許諾に係る取次契約

事務局より、メテオ社より提案があった医療薬学誌掲載論文に係る企業からの転載許諾依頼を取り次ぐ覚書の締結について、手数料の負担はあるが、転載許諾の判断、転載許諾料の設定などの権限を本学会が有していることより、本契約の締結による支障がないことが説明された。協議した結果、当該契約の締結が認められた。

## 3. 報告事項

### (1) 第 26 回年会開催準備状況報告

議長より、第 26 回医療薬学会年会の準備状況が報告された。採択した一般演題数が、口頭 302 題及びポスター 1396 題、事前参加登録者数 7202 名であることなどが報告された。

### (2) 第 27 回年会開催準備状況報告

大森第 27 回年会長より、開催テーマ、開催期日、主会場が説明された。続いて、当該年会の収支予算案に関して、参加見込者数に対する会場内の座席数の確保状況が不十分であることより、座席数の追加確保のための会場の借り増しによる支出増加と、それに対する収益の確保策に係る話があった。意見交換した結果、次回の理事会に会場を借り増しした場合の修正収支予算案を提示し、改めて協議することとなった。

### (3) 第 61 回公開シンポジウム実施報告

青山理事より、第 61 回公開シンポジウム（茨城県つくば市）の実施報告書及び収支計算書を基に実施概要が報告された。

### (4) 各委員会報告

- 1) 第 2 回薬物療法専門薬剤師研修小委員会
- 2) 第 1 回医療薬学編集委員会
- 3) 第 2 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会
- 4) 第 1 回広報委員会

議長より、上記の各委員会議事録の確認依頼とともに意見等がある場合には、各委員長又は事務局に問い合わせをすることが述べられた。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 50 分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会 頭 .....印

監 事 .....印

監 事 .....印